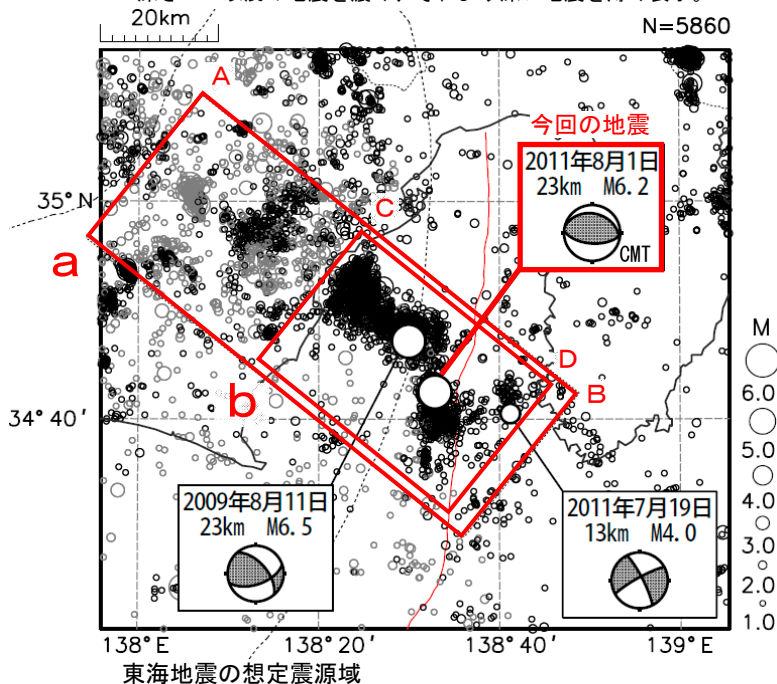
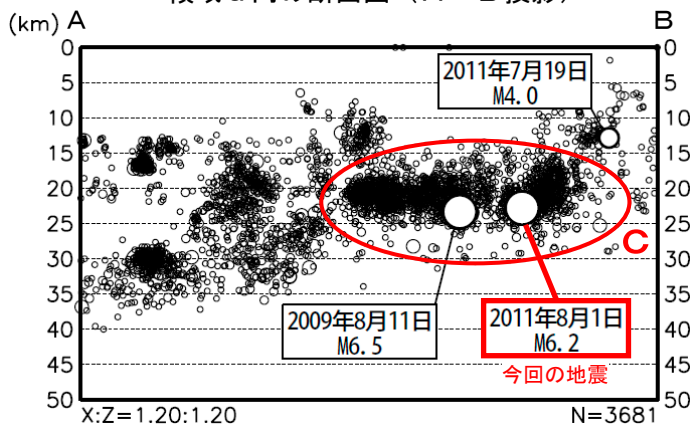


8月1日 駿河湾の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年8月31日、 $M \geq 1.0$ 、深さ0~50km)
深さ25km以浅の地震を濃く、それより深い地震を薄く表示。



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

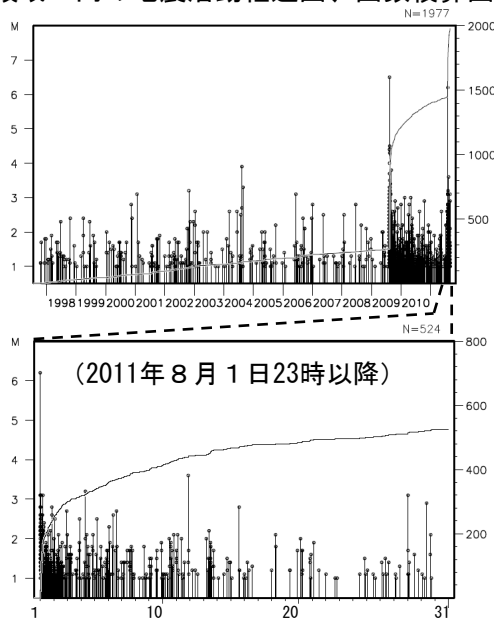


8月1日23時58分に駿河湾の深さ23kmでM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。この地震により、負傷者13人、住家一部損壊15棟などの被害が生じた(静岡県による)。2日05時までに震度1を観測した余震が4回発生したが、余震活動は次第に減衰している。

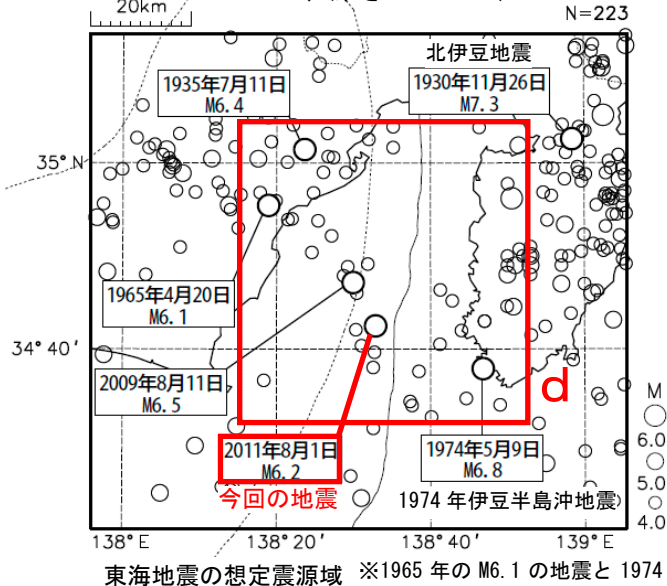
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域c)では、2009年8月11日にM6.5の地震(最大震度6弱)が発生し、死者1人、負傷者319人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域d)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域 c 内の地震活動経過図、回数積算図

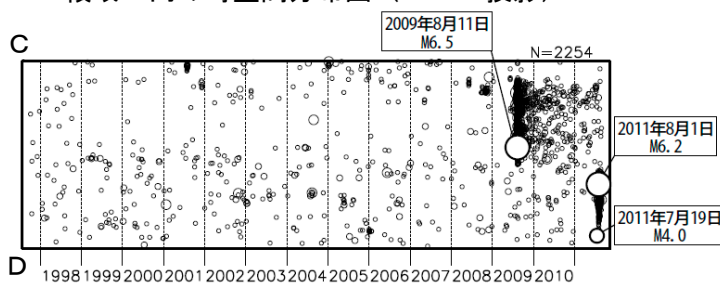


震央分布図 (1923年8月1日~2011年8月31日、 $M \geq 4.0$ 、深さ0~50km)



東海地震の想定震源域 ※1965年のM6.1の地震と1974年のM6.8の地震については、震源を再精査した。

領域 b 内の時空間分布図 (C-D 投影)



領域 d 内の地震活動経過図

